

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	グリーピースToys・Switch / II・Nursery		
○保護者評価実施期間	2025年2月3日		2025年2月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	35	(回答者数) 35
○従業者評価実施期間	2025年2月3日		2025年2月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	2025年2月28日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	法人内での職員の別事業所への支援参加のシステムがあるためより多くの職員で支援を考える体制が整っている。 また職員の移動が可能のため、スポット的に支援員の加配が可能となり手厚い支援が実現できている。	他事業所の職員の意見を積極的に聞くことで支援の幅を広げるとともに個別の支援の充実を図っている。 積極的に保育所等訪問を行うことで並行通園先と一貫した支援を心がけている。	他法人からのスーパーバイズを求めることでより支援の専門性を高めることができる。 ご利用者様とつながりのある医療や専門機関との連携を密に図ることで多角的な支援の実現が可能。
2	相談支援事業所が法人社内にあることで家庭内での困りごと等に迅速に対応できる。	相談支援専門員との連携を密におこなっており、家庭での困りごとについても協力して介入できる体制ができています。 また保護者様の相談窓口も広くなることでご相談がしやすい環境作りを努めている。	今後もサービス担当者会議の開催を定期的に行うことで情報共有を丁寧に行っていく。またご家庭からの相談に対しても多方面からサポートできるような体制を継続して作っていく。
3	同法人内に放課後等デイサービスがある。	小学校就学後も放課後等デイサービスの持ち上げりで切れ目のない支援を実現している。 児童発達支援との交流も行うことで異年齢での関わりを実現できている。	放課後等デイサービスへの引継ぎをより入念に行うことで小学校就学後も良いスタートが切れるようにしていく。 今後小学校への期待を高めるためのイベントや未就学児の頑張りを発表する機会も設けていきたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者様の参加型のイベント(懇談会、参観会)が行えていない。	大人数を招いての懇談会等の経験が事業所としてない事、保護者の方の就労状況、ご家族の事情等への配慮が必要と考えた結果なかなか実施に踏み切れていなかった。	保護者様へのアンケートを取ることで保護者参加型のイベントの内容につなげていく。 他法人の保護者参加型のイベントの行い方などの情報を集め、事業所内でも取り入れていく。
2	地域の保育園との連携体制やパイプが不十分。	現在並行通園先として連携させていただいている保育園や幼稚園があるが今後より多くの園とのパイプを持ち、並行通園や引継ぎ等の対応が柔軟かつ多くの選択肢のなかから行えるようにしていきたい。	並行通園希望の児童の受け入れに加え、保育所等訪問のみの依頼も受けている。
3	園庭に大型遊具が無い。	現在、園庭の広さ、ご利用者様の特性や安全に配慮して大型遊具の設置を行っていない。 公園や散歩先の遊具を利用して身体を動かして遊ぶ場の提供を行っている。	今後施設内にも安全を確保したうえで体を動かして楽しめる遊具の導入を検討している。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 グリーピースToys・switch / II・Nursery

公表日 2505年 3月 14日

利用児童数 35

回収数 35

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	35	0	0	0	園庭がもう少し広さがあつたらいいなと思いました	活動内容や人数によっては園周辺や公園を利用することで広いスペースを確保し、のびのびと遊べる環境設定を行っていく。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	31	0	0	4		人員基準数（管理者1名（兼務可）、児童発達支援管理責任者1名（兼務可）、児童指導員2名、その他の従業者1名）に対して、児童指導員、保育士半数以上、強度行動障害基礎研修修了者は全スタッフの4/5は確保できている。前日必ず5名以上のスタッフで支援にあたっている。管理者児発管は兼任で常勤である為、配置数は適切である。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	31	0	0	4		ご利用者が安全に生活できる配慮はされており、不安のあるご利用者様には職員が介助し安全配慮を行っている。面談・内覧等での見学は可能ですので、是非事業所をご覧になってください。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	34	0	0	1		毎日の清掃業務を行っている。活動内容によって机の配置を変えたり別の部屋を使うなどの配慮を行っている。
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	35	0	0			今後もご利用者様の特性に応じた専門性のある支援が行えるよう努めて参ります。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	32	0	0	3	最初に説明を受けたが今は特には気にしていないため	1カ月の様子をまとめてお伝えする際に支援プログラムとの相性を伝える工夫をしていく。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	35	0	0	0	しっかりと内容と分量の報告を受けている子どもに合わせる対応をしてもらっていると感じる	今後もご利用者様と保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画の作成が行えるよう努めて参ります。
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	33	0	0	2		ご利用者様の事業所での様子、家庭での様子を踏まえ目標設定を行っている。並行通園は保護者様と連携を取り丁寧に進めている。
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	35	0	0	0		今後も児童発達支援計画に沿った支援を行うことができるよう努めて参ります。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	33	0	0	2	毎回違った活動がされている今日は何をして活動していました。頑張っていました。と伝えていただけなのでどんなことをしたのか聞けるのが楽しみです。	今後も事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫して参ります。
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	15	2	3	15	特になかったと思うが上の年齢のクラスとの交流はあったと思う普段はグリーピース内での内容しか聞いていないのでわからない他の保育園との交流はなくとも施設内で小学生の子と交流できるのは良い経験になると感じる	今現在ご利用者様の年齢の幅が広いことや特性の関係から交流を行っていない。他事業所の異年齢のご利用者様との交流は季節ごとに設けており、今後も特別な体験になるような交流会を行っていく。
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	35	0	0	0	十分に感じた	負担額については、契約時の料金表、重要事項説明書に明記している。支援の内容は個別支援計画書をお渡ししている。半年に1度の面談のみではなく、お電話、LINEは随時できます。お気軽にご相談ください。
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	35	0	0	0		今後も児童発達支援計画について丁寧に説明が行えるように努めて参ります。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	22	2	4	7	機会がなかったぜひ今後お願いしたいです交流会などはないが個別の育児の相談には親身に対応いただいている	個別に事業所に来ていただいて実際の支援を体験していただく機会を設けております。お気軽にご相談ください。今後集団での家族支援も検討していく。

保護者への説明等	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状態について共通理解ができていますか。	34	1	0	0	毎日ノートと直接の両方でできている 子どもの様子が連絡ノートからだけでは見えてこないことが多い。帰りのときに伝えてくれるのはありがたいけどない時もあるのもう少し知りたいと思う時がある	ブログや連絡ノートの記入、送迎時に日々の様子の報告や家族支援を行い、情報共有を行っている。職員間での情報共有を徹底して行っているため、丁寧な保護者様対応を心掛けていく。お電話や、LINE等でご相談も対応しておりますので、お気軽にご連絡ください。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	34	0	0	1	希望すればやってもらえたが年に何回などの定期的かはわからない	半年に1度の面談のみでなく、お電話、LINEは随時できますので、お気軽にご連絡ください。管理者が送迎時等で順番にお伺いさせていただいている。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	35	0	0	0	特に担当の先生にはよくしてもらっている	今後も共感的な支援が行えるように努めて参ります。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	8	2	11	14	他の保護者の方やお友達と関わる機会があるとより安心です 特性を持つ子の子育ての悩みの相談の場や親同士の情報共有ができればいいなと思います	保護者様と担任を交えた話し合いの機会を検討している。育児についての悩みや不安を共有し合える場の提供が行えるよう努めて参ります。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	34	0	1	0	友達の名前が覚えられないと相談するとゲームにして友達の名前が覚えられるように工夫してもらえた いつも相談に乗ってくださるので助かっています 先日相談する機会をいただき日数変更も迅速に対応してくださり安心しました	苦情や困り事の連絡があれば、すかさず法人代表、取締役がお伺いし状況説明等対応をしている。直ちに会議を開催し、全てのご利用者様に書面又はLINE等でお知らせいたします。必要に応じて周知させて頂いている。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	33	2	0	0	困ったことは今までないが子どもがどう思っているかわからない 毎回本日の様子を教えてくれて安心です	書面や口頭伝達時の表現を工夫し、連絡ノート、送迎時等に保護者様対応時に情報共有をする。管理者が順番に送迎に向っている。共通理解を高める為、なんなりとお申し付けください。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	35	0	0	0	毎月発信されている	ブログ等で週3回以上写真での様子、週1回以上文面での様子を更新している。ご利用者様の日中の様子は、保護者様対応時と各月ごとに様子をまとめ、説明を行っている。
非常時等の対応	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	35	0	0	0		個人情報等は、施錠付きの書庫で保管している。ホームページはご利用者様専用のパスワードにて管理している。メディアへの取材時には出演依頼をしたご利用者様の同意のもと取材先の個人情報同意書に保護者様のサインを頂く。強制等は一切致しません。
	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	29	2	0	4	訓練の有無はわかりません 流行している病気とかがあるのであれば保護者にも情報を教えて欲しい	ご契約時に、ご契約内容の説明をさせて頂き、ホームページにも掲載している。感染症マニュアルはホームページに掲載、防犯カメラを設置しており事業所間での相互防犯管理を徹底して行っている。有事の際には、録画記録により閲覧できるようになっている。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	34	0	0	1	訓練の有無はわかりません	年間6回の訓練を実施している。職員間での研修を通し、有事の際の対応は迅速に行える姿勢は整えておく。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	34	0	0	1		年間6回の訓練を実施し、訓練の様子はブログに掲載している。引き渡し訓練は、就業している保護者様もいるので現在検討中である。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	32	0	0	3	事故がなかったのわかりません	今後も事故等が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明が行えるよう努めて参ります。
27	こどもは安心感をもって通所していますか。	34	1	0	0		今後もご利用者様が安心して通うことのできる事業所であるよう努めて参ります。	

満足度	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	32	3	0	0	園が楽しいので朝行く時はしぶりますが、帰りは楽しかったといいます 今日トイズ?と朝聞いてきます	ご利用者の成長過程を保護者様と情報共有を行い、ご利用者が楽しみに通える環境や楽しんで参加できるプログラム内容を作成し、日々全職員努めて参ります。保護者様、ご利用者様の言葉が全職員の励みとなります。今後もどうかご協力をお願い致します。
	29	事業所の支援に満足していますか。	34	1	0	0	いつもありがとうございます	今後も保護者様、ご利用者様に寄り添いながらご満足いただけるよう努めて参ります。

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	グリーンピースToys・switch / II・Nursery	公表日	2025年 3月 14日
------	---------------------------------	-----	--------------

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9	0	活動内容や人数によっては園周辺や公園を利用することで広いスペースを確保し、のびのびと遊べる環境設定を行っている。	園庭は遊びの展開によって必要とするスペースが異なるため、柔軟な対応ができる仕切りやフェンスの配置を検討している。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9	0	人員基準数（管理者1名（兼務可）、児童発達支援管理責任者1名（兼務可）、児童指導員2名、その他の従業者1名に対して、児童指導員、保育士半数以上、強度行動障害基礎研修修了者は全スタッフの4/5は確保できている。前日必ず5名以上のスタッフで支援にあっている。管理者児発管は兼任で常勤である為、配置数は適切である。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8	1	ご利用者様が安全に生活できる配慮はされており、不安のあるご利用者様には職員が介助し安全配慮を行っている。	園のコンクリートと芝の段差が危険 職員が段差付近に立ち子どもたちへの声掛けを行い安全に配慮する。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8	1	ご利用者様が退園後に清掃業務を毎日行うことで支援環境の清潔を保っている。	ご利用者様が生活しやすい環境を保てるように常に意識を高く持つておく。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9	0	個別の机や別室を使うなどしてご利用者様が集中しやすい環境の配慮がなされている。	ご利用者様の状況に応じて柔軟な対応ができる環境を今後も整えていく。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	9	0	毎日振り返りの時間がある 毎日のミーティングで職員間で支援の内容を振り返る時間を設けている。	ミーティングの質の向上に今後も努めていく。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0	評価表のまとめを職員間で共有し、支援へ取り入れるかを検討する時間を設けている。	昨年度評価からの改善と、同じ部分の評価の変化を照らし合わせ、改善に努めていく。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0	職員同士のミーティングでそれぞれの意見を発信し合い支援内容の検討を行っている。	支援変更の経緯を記録することで同じようなパターンのときの判断材料にできるようにしていく。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7	2	他事業所職員に支援参加の協力をしてもらい、支援内容上の意見をもらうことで質の向上に繋げている。	スーパーバイザーなどの他法人の意見も受けていくことを検討している。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9	0	法定研修以外の研修も定期的に法人内で行っている。	新年度より新しい研修システムを導入する。
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8	1	支援プログラムはHPIにて公表されている。 個別の支援については家族支援をもとに保護者へ共有を行っている。	集団活動の内容についてはブログ等で保護者様に知っていただくことができるよう投稿を続けている。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	9	0	保護者様のニーズをアセスメントしたうえで事業所でのご利用者様の様子と事業所で行えることの提案をしながら作成している。	支援計画書についての質問や意見はいつでもの受け付けておりますので、お気軽にご相談ください。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9	0	担当スタッフ、専門スタッフと意見交換をしたうえで検討している。	毎日ミーティングの時間を確保しご利用者様の情報共有や検討を行っているため、継続して行っていく。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9	0	個別支援会議を行い、計画書の段階でスタッフに周知している。	今後も会議内で必要に応じて訂正及び支援方針の周知が行われている。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9	0	ご利用者様一人ひとりに応じて最適なアセスメント・行動観察をしていく必要があることからインフォーマルなアセスメントツールを用いて確認している。	フォーマルなアセスメントツールにおいては関係機関との会議のため必要である場合に作成を行っている。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9	0	支援計画書に記載の支援内容について、計画書を確認して支援の提供方法が理解できるように抽象的な表現は避け、具体的な方針、内容が記載されるように配慮されている。	支援内容が理解しやすいものになっているかの確認も随時行い必要があれば内容の変更等を行う。

援 の 提 供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	2	担任を中心とした体制でその時期のご利用者様に合った活動内容を選択している。	活動の幅をより広げたり、半分に分けることでより、個々のレベルに合わせた活動を行えるよう話し合いを進めている。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9	0	同じ活動でも、ご利用者様の様子や予想される特性から様々な工夫や配慮がされている。	SNSやブログなど活動内容の発信に力を入れられるように話し合いを進めている。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	9	0	個別と集団でそれぞれ違った目標の設定もし場面に合った支援が実現できている。	個別活動においてもSNSやブログなど活動内容の発信に力を入れられるように話し合いを進めている。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	1	職員の配置表を作成し、その日支援に入るクラスの職員で周知を行っている。	ミーティングの議事録を活用することで、対応事項に一貫性を持てるように配慮している。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9	0	毎日のミーティングでその日のご利用者様の様子の共有を行っている。	「遊び」「個別」「集団」等テーマ別の話し合いを行うことで支援の室の向上に繋げられると考えている。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9	0	気付きがあればすぐに付箋にまとめることを徹底している。	付箋内容を1カ月でまとめ保護者様への共有資料とするとともに計画書との照らし合わせを行い様子の変化等も記録している。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9	0	ご家庭と情報共有をする場や方法は確立されている。	ご相談やご質問がありましたら、お気軽にお問合せください。
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9	0	基本的には児発管が参加しているが、必要に応じて担当スタッフや心理スタッフも同席している。	事業所側からの開催も積極的に行っていくことで関係機関との連携を強化していく。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9	0	必要に応じて連絡をとり情報の共有を行っている。	今後も協力体制を持ち、迅速な対応ができるように努める。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9	0	並行通園先には必要に応じて保育所等訪問を活用し、情報共有が行える体制ができています。	訪問以外でもご利用者様の様子の変化など、連絡を今後も密に行っていく。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9	0	サポートかけはシートを用いて年度末に引継ぎを行っている。	小学校の授業見学や引継ぎ会等には今後も積極的に参加をしていく予定である。
	28	(28~30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	6	3	医療、並行通園先との連携は行えているがセンターからのスーパーバイズは行えていない。	今後事業所間の支援内容の共有など支援の質の向上につながる交流の機会には積極的に参加をしていく。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	0	9	ご利用者様の安全を優先し現在は他事業所との交流を行っていない。	他事業所、他園のご利用者様との関わりはとても有益だと考えている。少人数ずつなどで行える体制を整えていく。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9	0	送迎時のお話だけでなく月に1回、1カ月のご利用者様の様子や成長をまとめ共有を行っている。	ご利用者様についてのご相談は随時受け付けておりますので、お気軽にお声掛けください。
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	4	ペアレントトレーニングにおいては必要に応じて保護者様と一緒に支援室に入り行っている。	今後ご家族参加型のイベントを検討しているためぜひご参加ください。	
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9	0	契約時に契約書に沿って説明を行っている。	ご不明な点がありましたらお気軽にご相談ください。	
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9	0	計画更新前には必ず面談を実施しご利用者ご家族の意向の確認を行っている。	半年更新前にも必要に応じてご家族と面談を行い支援内容の検討や変更を行っている。	

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	9	0	必ず保護者様の同意のもと支援計画書の作成を行っている。	ご質問等がありましたらお気軽にご相談ください。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9	0	保護者様のご要望に応じて面談を行っている。	保護者様同士での話し合いの場などの提供が現在できていないため、今後設けることができるようにしていく。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	8	現在保護者会や交流会などを行っていない。	保護者様の就労状況等にも合わせてなるべく多くの方に参加していただけるように工夫を行っている。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9	0	対応の体制は整備されております。	不明な点がありましたらお気軽にご相談ください。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	9	0	HPにてご利用者様の様子や写真をご覧いただけるようになっている。	インスタグラムでも情報発信をしておりますので是非ご覧ください。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9	0	個人情報の管理においては徹底して行うように注意している。	今後も厳重な管理体制をとっていく。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9	0	様子や特性に応じて適切に配慮できるようにスタッフ間で情報の共有を行っている。	ご不明な点がありましたらお気軽にご相談ください。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	7	ご利用者様の安全を考慮しイベントへの地域の方の参加は行っていないが散歩を通して地域の方との交流は設けられている。	今後地域の方との交流の場を増やしていけるよう検討している。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9	0	各マニュアルを策定後、職員回覧と掲示を行っている。	委員会等を活用し全職員に周知を行っている。保護者様には契約時の説明やHP等で内容の説明を行っている。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9	0	BCPの策定がされており必要以上の訓練に取り組んでいる。	今後もご利用者様の安全配慮には力を入れていく。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	9	0	服薬について決まりを発信するとともに与薬依頼書で管理している。	ご利用者様の服薬状況等の情報共有を行いスタッフ全員が把握できる体制をとっている。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9	0	契約時にアレルギーの確認を行い、慎重に対応を行っている。	アレルギー表を作成しスタッフ全員が把握できるようになっている。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9	0	防災委員会の配置、定期的に避難訓練を行っている。	訓練の様子はHPにアップしております。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9	0	緊急連絡訓練を実施し緊急時を想定して保護者様と連絡が取れる体制をとっている。	連先の変更がありましたらご連絡ください。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9	0	ヒヤリハットについてのミーティングを毎週木曜日に行っている。意見を出し合い改善案を支援に取り入れている。	ご利用者様の安全を第一に考え支援の提供ができる環境を整えていく。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9	0	虐待防止委員会の設置及び意見共有と周知がなされている。	外部の研修にも積極的に参加をしていく。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	9	0	身体拘束が必要になるご利用様は計画に組み込んでいく。	具体的な記録をもとに保護者様への説明を行い同意を得たうえで一時的に実施している。